



岐阜県中津川市付知町の中央を流れる付知川の上流部は「付知（つけち）峡」と呼ばれ左に西股谷、右に東股谷と分かれます。この付知峡は、「森林浴の森日本一〇〇選」「岐阜県の名水五〇選」「飛騨・美濃紅葉三十三選」に選ばれたところです。今回は東股谷を紹介します。



青色の清流をたたえる付知川とキャンプ場

■「キャンプ場」がいっぱい

国道二五六号線付知峡口から北へ入って約五キロメートル、付知川河畔には、

大小八つのキャンプ場・オートキャンプ場が隣接しており、春は桜、夏は川遊びや釣り、秋は紅葉と季節ごとの楽しみがあり、休日には多くの家族連れなどで賑わいます。

■滝と岩の渓谷美「不動滝」

付知峡の中でも多くの人々が訪れる名所「不動滝」は、断崖上の展望台から見下ろすことができ、エメラルドグリーン綺麗な水が目を引きまします。



伝説が残る不動滝

四季折々に美しいこの場所には伝説があります。それは今から八百年以上前のこと、この地に住んでいた高僧智証和尚を村人が殺してしまいました。彼らが投げ捨てた和尚の屍は、不思議なことにまるで生き物のように川を遡りやがてこの滝に流れ着いた袈裟は滝壺でいつまでも渦を巻いていたそうです。その霊を慰めるため祀られたのが不動明王。今では目の神様として参拝する人も多いようです。

周辺は、「不動公園」として遊歩道が整備され、「観音滝」「仙禪の滝」も巡ることがができます。

人を寄せ付けない「百間滝」
不動滝の上流は、更に断崖絶壁の急峻な地形を呈しており、国有林入口から東股本谷を六キロメートル遡った所に「百間滝」があり、林道際の展望台から望むことができます。



展望台から見た百間滝

この百間滝は、断崖絶壁に囲まれているため、滝壺には近づけず神秘的です。

■周辺の山々を一望できる「夕森山」

下浦林道登山口から山頂までは約四キロメートル約三時間です。登山道は苔石とオシダが茂るうっそうとした森林に囲まれています。

「夕森山」の標高は一、五九七mで山頂からは、霊峰「御嶽山」をはじめ「恵那山」「小秀山」など周辺の山々を望むことができます。



付知裏木曾国有林から夕森山を望む

◆所在地

岐阜県中津川市付知町

◆アクセス方法

〔公共交通機関〕

JR中央本線中津川駅下車、北恵那交通バス「付知峡・倉屋温泉行」約五十分「付知峡倉屋温泉」から徒歩約九十分

〔自家用車〕

中央自動車道中津川IC（国道二五七号・国道二五六号を下呂方面へ約四十五分

◆お問い合わせ

付知町観光協会
電話番号 〇五七三―八二―四七三七